

種目名	生活	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	東京書籍
	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	光村図書	啓林館	日本文教
1 学習指導要領との関連	身近で取り組みやすい学習活動や学習材が豊富に取り上げられている。児童が自分の思いや願いを実現するための学びのプロセスを紙面の定位置に具体的な児童の姿で掲載している。活動例や表現方法（記録カードの書き方、報告書のまとめ方、発表の方法など）も分かりやすく取り上げられている。巻末の「べんりてちょう」は、身に付けるべき知識・技能や学習活動のヒントが分かりやすくまとめられている。	写真やイラスト、付属教材などに特長がある。自然のすばらしさや身近な人々、地域に興味をもたせ、児童の主体的な活動を促すように工夫が凝らされている。見る、触る、作るなど子どもが諸感覚を働かせ、主体的に対象に関わるような活動が盛り込まれている。「がくしゅうどうぐばこ」を設け、豊富な資料で子どもたちが自ら本を使って調べる、という学びの基礎を養うことができる。言語活動が充実している。	人との関わりを大切に考え、伝え合うヒントが多く示されている。対話活動を踏まえて自己決定をさせながら、「自分の力でやっていく」活動を重視している。また、幅広い知識を身に付けられるように、たくさんの資料や活動例を載せている。子どもの思いや願い、学んだことを表現するカードやノート、発表の方法など分かりやすく示している。振り返りや成長を自覚させる際にも有効である。巻末の「まなびかたずかん」は学習活動のポイントがまとめられていて大変よい。	生活科で育成する資質・能力（気付く・自分でできる・考える）などを「サイコロ」で表し、子どもも教師も保護者にもめあてを明確に示している。人と関わる活動を多く取り上げ、どの單元にも書いたり伝え合ったりする場を多く設定している。「やくそく（安全面の配慮）」、「ヒント（思考のスイッチが入るような支援）」、「マナー」などが分かりやすくまとめられ、定位置に掲載されていてよい。	児童の興味関心を引き出す「ホップ」、児童の気付きを大切に主体的に活動を進めていく「ステップ」、気付きの質を高め、学びを振り返る「ジャンプ」の3段階で構成されていて、学習の流れやめあてが明確になっていて分かりやすい。要所に「どうすれば」の欄を設け、考える時間を保証している。児童の気付きを大切に、思いに沿った多様な活動を創造させ展開できるように編集されている。	見る、聞く、触れる、作る、探す、育てるなど対象に直接働きかける学習活動が豊富に紹介されている。記録したり、まとめたり、伝えたりする表現活動のポイントが各ページや巻末の「がくしゅうずかん」に分かりやすく掲載されている。単元の導入「わくわく」には、子どもの学習意欲をかりたてる写真やイラスト、会話などが効果的に取り上げられている。	育成すべき資質・能力の3つの柱に基づいた「学習のめあて」が各ページに示されている。学びが深まるような板書や多様な表現手段、話し合いの場面などが具体的に取り上げられている。導入はインパクトのある写真で子どもたちの好奇心をかきたてる工夫がある。考えるヒントや身に付けたいマナー、安全面の注意などが多く取り上げられている。児童の学びを実生活や実社会とつなげられるよう工夫されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	身近な人と関わったり生き物を育てたりするなどの学習活動に、命を大切にする気持ちを育んだり、社会的な習慣・マナーなどを身に付けてできることを増やしていこうとする態度を養ったりすることができるように工夫されている。	「おしえてあげるね」「ありがとうをつたえよう」など伝え合い、交流する活動を大切に関わり合いながら道徳性、社会性が育つよう工夫されている。「せいかつことば」「きらきらことば」、道具、看板など生活に直接つながる言葉や身近なもの各ページ横に取り上げられ、自然に身に付くよう工夫されている。	各地で暮らす人々の春夏秋冬の暮らしぶりや行事が写真やイラストで分かりやすく紹介されていて自分の暮らし地域の伝統、文化に興味に向くよう工夫がされている。でることを増やそうと頑張るなかから家族の一員であることに気付いたり積極的に役割を果たそうとしたりする気持ちを養うよう工夫されている。	関わりを大切にし家族の一員であることや地域とのつながりに気付き、積極的に役割を果たそうとする気持ちを養うとともに、動植物を育て関わることにより、生命の大切さを学ぶことができる。写真やイラストで幼児、高齢者、障害者を取り上げ、多種多様な人々との関わりを考えさせることができる。	家族、友達、地域の人など身の回りの人々との関わりが大切に扱われている。また、高齢者、障がいのある人との交流も重視し、イラストや写真で多種多様な人々との関わりを考えさせることができる。季節を通して豊かな文化があることに気付くように配慮されている。	単元末には振り返り活動が設けられ、自分の成長や学ぶ楽しさを実感することで、学習したことを次の学習や生活に生かそうとする意欲が高まるよう、工夫されている。協働的な学びが自然と生まれるように、場の設定や授業環境の工夫が写真やイラストで示されている。	活動を通してマナーや礼儀を身に付けたり、障害のある人等と関わったりしながら学んだことを日常生活に生かすことができるよう工夫されている。多様な人間関係を積極的に築き、大切にする意識をもたせる配慮がされている。

<p>3 内容 (1) 内容 の 選 択</p>	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々との関わりや学校・通学路・公園・地域など多くの例が示され、人や社会、自然に関心をもたせ、自分との関わりを考えたり、地域への愛着を深めたりする内容となっている。 ・学校・町・自然等が豊富に掲載され、地域の人々や友達、事象との関わりを深めながら多様な活動ができるよう配慮されている。 <p>自然の素晴らしさに気付いたり遊びや生活を工夫したりできるように活動が詳しく示されている。</p>	<p><u>大日本図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々に直接話をしたり、出かけていたりする活動が多く取り上げられている。写真・挿絵・吹き出しなどにより、児童の好奇心を引き出し、主体的な活動が期待できる。気付きの質を高め、自立への基礎を養えるような内容となっている。 ・地域で働く人の写真を多く載せたり、どの地域でも活用できる生き物採集や草花観察のポイントが示されたりして指導しやすい。 	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検・遊び・栽培飼育等の具体的な活動の中で、「見つける、比べる、たとえる」といった分析的な力や「試す、見通す、工夫する」といった創造的な力の基礎が養えるように多様な場面で提示している。 ・活動ごとに大單元になっているので、時系列的に活動時期を指定しないで、地域や学校の環境、児童の実態に合わせて、学習時期を組み替えたり、軽重をつけて指導できるように工夫している。 	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較したり、継続して観察したり、諸感覚を使って活動したりするなど、さまざまな活動方法が示されている。自分の身近な人々に目を向け、積極的にかかわろうとする気持ちを養うよう工夫されている。 ・いろいろな地域のふれあいや活動事例を資料として豊富に取り上げている。自分の地域にも目を向け、興味をもてるよう工夫されている。 	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いを大切にしたい学習展開であるとともに、身近な人々に目を向け、積極的に関わろうとする気持ちを養うことができる。登場する人たちの豊かな表情や具体的な様子から児童に気付きをもたせるような工夫がある。 ・本文で、文章による説明をあえて少なくすることにより、多様な活動を創造できるように工夫されている。 <p>児童の興味・関心を高める写真やイラストで活動の手順を示し、地域の実態に応じて学習を展開することができる。</p>	<p><u>啓林館</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に沿って単元が構成され、実生活に則して学習できる内容になっている。導入、展開、振り返りの3段階で構成され、児童の思いを大切にしながら学習を展開することで、自分の生活について考える内容となっている。 ・各單元では、様々な活動例を挙げており、各校の実態に合わせて活動できるように工夫されている。單元ごとに「わくわくぼくす」を設け、導入で子どもたちに思いや願いを強くもたせ、主体的な活動を促している。 	<p><u>日本文教</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの写真やイラストは美しく、気付きの質を高める助けとなっている。 <p>実生活に即した活動事例を多数提示し、具体的な活動資料を使って身近な友達と関わりながら学び方が身に付く内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物を育てたり、生き物とふれ合ったりする單元では、多くの活動例が載せられており、自分たちの地域の活動と重ねてとらえやすく、各校の実態に合わせて活動できる内容となっている。
<p>3 内容 (2) 内容 の 程 度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実物大のイラストや詳しい挿絵、俯瞰図、図鑑的な資料や写真など、豊富な資料で児童の好奇心を高め、主体的な活動が展開されるように工夫されている。 ・学びの姿（調べる、考える、話し合う、表現するなど）や目指すゴールが丁寧に掲載され、児童も教師も見通しをもって取り組める。発展的、選択的に活用できる内容も随所に設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化を踏まえて発達段階に応じた活動ができるよう工夫されている。 ・「透明シートの口絵」「夜のたんけんライト」など興味・関心が高まるような工夫や、巻末には、図鑑的な資料も多く、自主的な調べ学習にも活用でき、遊びや工作の例も豊富である。同じ秋の風景を白黒のページとカラーのページで対比させることで紅葉に気付かせるなど、めくることが楽しくなるような工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が大單元ごとに広がり、深まるようになっていて、季節や活動の比較がしやすい。 ・「どきどき、いきいき、ふむふむ、にこにこ」という流れで構成され、指導者にとっても、児童にとっても、活動のねらいや展開が分かりやすい。また、登場人物の4人のつぶやきに共感しながら学習をすることで主体的に取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域における自然体験は発達段階に応じて、振り返る事例や発展的な学習に取り組めるよう配慮が人用である。 ・巻末の学びのポケットの「つたえ合って考えよう」では、いろいろな考え方を整理し分類しながら深めていく方法を提示している。登場する主要な人物が経験や活動を重ねて成長していく様子は、児童が自分と重ね合わせて主体的に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の発達段階を考慮し、どの單元もあたたかな雰囲気や文章表現で、児童が安心感をもって学習できる。学習内容も少しずつステップアップしていき、ゆとりをもたせた単元構想である。 ・「ホップ・ステップ・ジャンプ」で学びを深める構成がある。活動の要所にある「どうすれば」で、児童が自ら探究していけるように工夫されている。振り返りの巻末のシールで学習の足跡も見つめられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大写真や実物大の写真、思いや願いをつなげる言葉が効果的に配置されている。 ・ページ右端のめくり言葉で、児童の思いや気付きで学習が主体的に展開されている。「こんなときどうしよう」は、児童が自ら考え、解決できるように工夫されている。黒板のまとめの挿絵や付箋による分類は、振り返り活動のヒント（気付きの可視化・共有化）として教師の参考にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を高める見開きや拡大写真が効果的に配置されている。発達段階に応じた活動記録の例を基に活動や表現が多様にできるよう配慮されている。 ・実際の授業の様子が写真で掲載されていることで気付きが具体的に、学習の見通しをもって主体的に活動できるよう工夫されている。

3 内容 (3) 内容 の 構 成	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の流れで配置されていて、学習が進めやすい。また、以前の学習や生活経験を思い出させるような構成になっていて、学習内容に入りやすくなっていたり比較できたりする。 ・児童が自分の思いを基に学びの見通しをもって意欲的に取り組めるように考えられた内容で、分量の配分も適切である。 ・資料が豊富に掲載され、児童の実態に応じ、発展的、選択的に活用できる。巻末の「ポケットずかん」は、実寸大で気付きの質が高まるよう工夫されている。 ・幼児期に培った力を生かしながら生活科の学習へつながるように構成されている。他教科や中学年以降の教育への接続も考慮されている。 	<p><u>大日本図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の流れで構成され、児童の自発性を促し、無理のない活動展開ができる。人・社会、自然を生かした流れの中で、「なかよし」から「はっけん」へとつながっている。 ・子どもの思いや願いを引き出しながら、児童が個々の活動に応じて主体的に追究できるような内容になっており、分量の配分も適切である。 ・ページ右端「せいかつことば」「きせつのこよみ」などに活動の発展につながるヒントや資料、言葉などの情報が提示されていて、活動の広がりや他教科とのつながりが期待できる。発展的、選択的に活用できる「かくしゅうどうぐばこ」が設けられている。 ・スタートカリキュラムを意識し、イラストのページや遊びから入る配慮がされている。他教科との学習のつながりにも考慮されている。 	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検、遊び、栽培、飼育、成長の5つの大単元で構成され、連続した活動になっているので、展開が分かりやすく、見通しがもてる。振り返りにも有効である。 ・児童の生活に根ざした活動が重視された内容で、各学年とも5つの単元の分量の配分も適切である。 ・「にこにこ」の学習段階のページに、発展的な活動につながるきっかけとなる児童のことばが記載されている。巻末の「せいかつか学びかたずかん」では、活動のヒントや活動の振り返りが手軽にできるように工夫されている。 ・スタートカリキュラムは、文字でなく挿絵とその人物の表情から、学校生活に対する安心感を、どの児童も感じることができる内容である。他教科との関連も図られている。 	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れの通りに配置されていて、活動を進めやすい。活動のねらいを意識しながら学習活動が深まるよう配慮されている。 ・単元への関心を深め、意欲的に活動したり振り返ったりできる内容で、分量の配分も適切である。各単元に「なにをかんだかな」のページを設け、「気付いたことに気付く」振り返りを大切にしている。 ・「はってん」や「学びのポケット」などに他教科とのつながりが意識されていて、合科的に学習ができる。発展的、選択的に活用できるコーナーも設けられ他教科との連携も配慮されている。 ・上巻はほのぼのとする絵本で始まっている。幼児期に育んだ力がどんな活動につながるか示している。他教科との関連、発展も考慮されている。 	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の流れに合わせた、活動ごとの単元でまとめられており、学習の流れが分かりやすく、見通しをもって学習を進めることができる。 ・写真や絵を活用して主体的に活動を行い、自己の成長を見つめていくことができるような内容になっており、分量配分も適切である。 ・「もっとやってみよう」が単元末に位置付けられており、写真や挿絵から活動内容を理解し、児童が主体的に活動を広げ深めることができるように工夫されている。巻末には、「ひろがるせいかつじてん」が設けられ、必要に応じていつでも確認することができる。 ・スタートカリキュラムでは、「幼児期までに育ってほしい姿」を踏まえた内容が工夫され幼児小の接続に配慮されている。他教科との関連、発展も考慮されている。 	<p><u>啓林館</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に沿った単元で活動ごとにまとめられている。「わくわく」(導入)「いきいき」(活動)「ぐんぐん」(表現)の三段階で活動が発展し深めていけるようになっている。 ・事例が多く、学校や児童、地域の実態に応じた活動を展開できるような配慮がなされている。学習の流れを明確化し、多様な学習活動で、気付きの質を高めていくプロセスを大切にしている内容で、分量も適切である。 ・「かくしゅうずかん」は、各教科につながる学び方の基礎や記録・話し合っているの仕方などの発展的な学習につながるスキルを学ぶ内容がまとめられている。 ・スタートカリキュラムが充実していて、スムーズに幼小連携ができるよう配慮されている。他教科との関連、発展も考慮されている。 	<p><u>日本文教</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化による構成で、活動ごとのめあても提示され、順に活動しやすくなっている。学習活動や教材が適切に選定、配列されている。 ・児童の気付きを促し、活動における学びを深めることができる内容になっており、内容の分量も適切である。学びを実生活や実社会につながる手立てがイラストや吹き出し等に盛り込まれている ・巻末の「ちえとわざのたからばこ」は必要な知識、技能、習慣が身に付くよう構成されている ・スタートカリキュラムの部分が大変充実しており、生活面・安全面を含め、学校生活が詳しく伝わるよう配慮されている。他教科との接続、発展も考慮されている。
4 表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻はひらがな、下巻は全漢字ルビを付しており、多くの児童にとって読みやすいよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた漢字を使用し、カタカナにもルビを付している。児童の思いや願いを吹き出しを使って表現し、理解しやすいものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、仮名遣い、記号、用語など児童に理解しやすいものになっている。リード文やイラストなどによる表現方法を使って見やすい、理解しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、仮名遣い、記号、用語など児童が理解しやすいものになっている。本文は活動する児童の言葉で示され、児童に理解されや 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・仮名遣い・記号・用語など児童に理解しやすいものになっている。吹き出しの言葉は児童の思いや発見を表現してい 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、仮名遣い、記号、用語など児童に理解しやすいものになっている(上巻前半はひらがな表記)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた漢字を使用している。小単元の文字に別色での縁取りが施されていて、読みやすい。

及び使用上の便宜等	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの質の高い気付きや、活動の深まりを促すような工夫がある。自然の素晴らしさ、美しさ、不思議を感じることでできる大変興味深い写真や実寸大の図鑑、具体的な活動例のイラストが多く取り入れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが生き生きと活動している写真を豊富に取り入れている。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」には、資料がたくさん提示され、具体的な活動の発展につなげやすい。「透明シート」や挟み込みで工作できる「たんけんカメラ」などすぐに活動したくなる資料が取り入れられている。 	<p>内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4人の登場人物の活動や成長の過程を目で追ってしまいたくなる構成である。それぞれのつぶやきも興味をもてると思われる。おもちゃの場面では、利用する題材に動きのある写真が使用され、音の表現も加わり、わくわくする。 	<p>すい。</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストと写真が効果的かつすっきりと並べられており、見やすい。吹き出しを使って子どもたちの考えやつぶやきを表現したり、キャラクターの言葉で気付きを促そうとしたりして工夫されている。 	<p>て共感できる内容である。字体も吹き出し部分は、より親しみやすい字体が使用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本のような挿絵と構成、やさしい色彩は、児童が安心感をもって学習に臨むことができる。写真は、鮮明かつ大きめであり、登場人物の表情は豊かであり、物も詳細に描かれているため、児童が理解しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真の数が適切である。理科的な観察が必要である場合は、本物の大きさで写真が掲載されているので理解しやすい。タイトル、写真と挿絵、カードの位置等の配置が規則的であるため、すっきりしている。文章が読みやすいように短く区切られている。ワークシート形式の欄で自分の思いを書くことができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストが鮮明で大きく美しく、児童の目を引くように効果的に配置してある。単元の導入は、活動の様子がよく分かり、意欲を高められるような大きく表情豊かな写真を使用している。 見開きが効果的に使われていて、活動の流れが分かりやすい。
5印刷・造本等	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 美しくアングルも工夫された写真で、興味をもたせることができる。イラストが淡い色調なので、目が疲れない。写真とイラストの色調を変えているので、分かりやすい。 レイアウトがすっきりし、タイトルも目立たせて活動内容が明確にされ、各要素を紙面の定位置にのせるなど、ユニバーサルデザインへの配慮が十分になされている。字体の使い分けにも工夫が凝らされている。 A判あじろ綴じで、開きやすく丈夫である。 	<p><u>大日本図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 写真は光沢が抑えられていたり、淡い色使いであったりして、読んでいて疲れない。モノクロの絵や写真をあえて入れることで子供の興味関心を引きつけている。 色覚の特性によらず、情報が読み取れるような配色がしてある。 A B判あじろ綴じで、開きやすく丈夫である。表紙の絵に凹凸があり手触りも面白い。 	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> やさしい字体、読みやすい文字の太さ、優しい色調で目に優しい。豊富なイラストや写真は、大きく表情豊かで分かりやすい。 シンプルで見やすい紙面になるように記号やマーク表示を必要最低限に抑えるなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。 表紙が厚めで丈夫で良い。表紙・中紙の手触りがよいA4変形判あじろ綴じで、しっかりと製本されている。 	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 優しい色彩のイラストと大きな写真が豊富で見やすい。活動のヒントとなるつぶやきや投げかけを、字体や色で変化をつけ工夫している。 学習に取り組みやすい配色、レイアウト、文字等、色覚の多様性に配慮するなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。 A B判で、表紙には汚れにくい加工がされており、製本は丈夫である。 	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 吹き出し等には手書き風書体を使用されるなどの工夫がされている。文字の大きさ、印刷の鮮明度、色彩は適切である。 見分けやすい配色にするとともに、図や写真の重なりにも配慮した紙面で構成するなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。 A B判で耐久性が高い加工がなされており、折れにくく、丈夫である。製本は堅牢である。鉛筆で書き込みやすい紙質もよい。 	<p><u>啓林館</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動や体験への刺激となるように、単元名、小単元名、本文等、短い言葉で文字の大きさ、色、字体を使い分けて工夫されている。大きく鮮明な写真で分かりやすい。優しい色合いのイラストがとても見やすい。 小単元名、本文、カード等の配置が固定され、配色も見やすくするなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。 A B判あじろ綴じで非常に見やすい。強力な接着止めで開きやすく丈夫である。 	<p><u>日本文教</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 優しい色彩のイラストで読みやすい。印刷の文字の大きさや鮮明度も適切である。大、小単元名ごとに書体が統一され、単元ごとにイメージカラーとアイコンがあり、分かりやすく工夫されている。 見分けやすい配色で紙面を構成したり、アイコンを付加したりするなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。 A B判で耐久性があり、あじろとじでページが開きやすく丈夫である。